

5月18日 ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦 大声援で勝利を後押し

ヤマハスタジアムにベガルタ仙台を迎えたジュビロ磐田のホームゲームを、市内小学5・6年生約3,200人が一斉観戦しました。

今年は、選手のユニフォームデザインをもとに作成した「オリジナルピブス」を、各学校から選ばれたエスコートキッズが着用し、より選手と一体感を感じる入場となりました。

事前に応援練習をしていた子どもたちの大声援の後押しもあり、見事2対0で勝利しました。



- ①ジュビロ磐田の選手を精一杯応援する子どもたち
- ②オリジナルピブスを着用し、選手たちと同じピッチに立ちました
- ③入場前の子どもたち。みんなで観戦する試合を前に心が躍ります
- ④一斉観戦に先立ち、大藤小学校などで行われた応援練習

5月16日 培養土を市内小中学校へ寄贈 使用済の茶葉が土に変身



▲リサイクルや環境保護の大切さを、体験を通じて学びました

袋井市にある高砂フードプロダクツ株式会社が、使用済茶葉を活用した培養土をつくり、磐田市内の小中学校などへ寄贈しました。

豊浜小学校の3年生は、寄贈された培養土を理科の授業で使用し、ハウセンカなどの種の植え付けを行いました。この授業に立ち会った同社の篠原麻男社長は「土をいじることで、土の大事さを知ってほしいです」と話しました。

5月8日 磐田市花いっぱいコンクール表彰式 土のキャンバスに描く芸術



▲プレッシャーを跳ね除け、今年も見事最優秀賞を受賞しました

市では毎年、花と緑にあふれた美しい花壇を整備した団体を表彰する「花いっぱいコンクール」を行っています。今年もららぼーと磐田内の磐田市情報館で、表彰式が行われ、応募した20団体の中から、8団体が表彰されました。最優秀賞は2年連続で「菟洋敷地花の会」が受賞しました。

会の青島美智子代表は、「会員みんなでがんばった成果です」と受賞の喜びを話しました。



ARのマークが付いた写真はAR動画が再生されます。利用方法は2ページをご覧ください。

「まちの話題」はFacebookやYouTubeなどでも公開しています。右記2次元バーコードよりご覧ください。



iwata fun club 磐田 TV

5月21日 アース・キッズチャレンジ 地球温暖化防止に取り組みます



▲電球の明かりをつけるのに必要なエネルギーを体感しました

富士見小学校の5年生が「アース・キッズチャレンジ」のキックオフイベントに参加しました。

ごみ分別ゲームや自転車発電などを体験し、地球温暖化や家庭でエコ生活をするためのヒントを学んだ児童たちは、これから二酸化炭素の排出量を減らすための作戦を立て、行動していきます。

鈴木麻友さんは「エコ生活ができるように頑張りたいです」と話しました。

5月12日 初開催！交通安全イベントin軽トラ市 交通安全を楽しく学ぼう



▲酒酔い状態を疑似体験できるゴーグルを着用し玉入れに挑戦

JR磐田駅北口広場からジュピロードにかけて行っている軽トラ市で、「交通安全イベント」が初めて行われました。

参加者はタブレットを使い、「認知・判断・操作」の行動が素早く行えるか確認しました。また、酒酔い状態の見え方を体験できるゴーグルを着用し、玉入れに挑戦しました。参加者は体験を通じ、交通ルールやマナーを守ることの大切さを再確認しました。

写真が動く!? AR動画をご覧ください

AR

まちの話題 番外編



緊迫！救助隊員の訓練

AR動画とは、あたかも紙面の写真が動いているかのように動画が再生される機能です。専用アプリを使って救助隊員の緊迫した訓練の様子をみてみよう！

▲専用アプリの利用方法は2ページへ

5月17日 五月晴れの空の下で、園児が田植え体験 おいしいお米になあれ！



▲苗も園児たちも元気にすくすく成長していきます

磐田南幼稚園の年長・年中の園児が、田植えを体験しました。地域にお住まいの農家、鈴木隆さんの協力で、園児たちは毎年田植えを体験することができ、収穫の喜びを味わい、食への意識を高めています。

園児たちは、苗が一行にそろうように注意しながら、丁寧に植えていきました。秋には稲刈りも予定されています。収穫したお米を味わうのが楽しみです。